

2020. 10. 25 「聖書預言・アップデート/聖書預言トップ 10」

<https://www.youtube.com/watch?v=z7SPwxyz6HA&t=1030s>

『聖書預言/トップ 10』おはようございます。毎週の「聖書預言・アップデート」へようこそ。ここカルバリーチャペルカネオへでは、日曜日の朝、2つの礼拝を行っています。第一礼拝は、「聖書預言・アップデート」です。第二礼拝は、神の御言葉を節ごとに学ぶ、「聖書の学び」です今日は、「第一テモテへの手紙」6章です。ハワイ時間 11 時 15 分からのライブ配信に、ぜひご参加されることをお勧めします。今日は、「なぜ私たちは他の誰でもなく、何事にでもなく、主に信頼を置くことができるのか？」についてお話しします。午前 11 時 15 分からご参加されることをお勧めします。そして、非常に嬉しいことに、ようやく新サイトの第一段階が完成しました。「jdfarag.org」が稼働しています。まだの場合は、是非ご覧ください。また、登録用メールアドレスをまだご入力いただけていない場合は、是非そうなさってください。強要ではありません。しかし、このサイトには興味深いコンテンツが沢山あります。そのうちの一つは、皆さんが対話できるフォーラムがあることです。話題や速報などについて対話することができます。ですので、「jdfarag.org」を是非ご覧になってみてください。では、本題に入ります。今日は、取り組むことがたくさんあります。なので、腕まくりなさってください。ハワイは半袖なので、腕まくりは必要ないですが。私たちの成長期に先生たちがいつも言っていたように、考える帽子をかぶりましょう。皆さん、そう言われたことありますか？私だけですか？ 実に、神は私たちに、理解できるように、神の知性を与えてくださっています。ですから、皆さん、神が与えてくださった、考える帽子をかぶってください。今日は、学ぶべきことが沢山あるからです。私がしたいことは、もう 2 年ほど行っていないことですが、『聖書預言のトップ 10』をリストアップすることです。実は、過去のアップデートを再見するのにアーカイブを確認し、このトップ 10 リストに入っている預言をいくつか見てみました。そして、更新する必要があることを認識しました。特に、今年初めに始まった COVID-19/コロナウイルスのことを考えると…皆さん同意されると思いますが、これは世界のすべてを変えました。もう二度と、元に戻ることはないでしょう。私たちがかつて知っていた世界は、消え去りました。そして今、この先に何かあるのかというと、神の御言葉を通し、まさに聖書預言でこの先にあると言われていることです。お許しいただけるなら、今日は、こんにち起こっている聖書預言トップ 10 のリストを見ていきたいと思えますそれらは、「超高速」のような早さで成就しています。あえてその言葉を使うのには、明らかな理由があります。ここに示しているのは、聖句と共に順に並べた預言トップ 10 の一覧表です。pdf ファイルへのリンクもあります。他の多くのリンクと同様に、下部の概要欄からご覧いただけます。今日は沢山のリンクがあります。これは、印刷して配布できる PDF ファイルです。まずはざっと見てから、一つ一つ見ていきたいと思えます。No. 10 : 聖書預言と、主の携挙での来臨を切望し、待ち望み、準備しているクリスチャンをあざ笑う事。これは第二ペテロ 3 章です。No. 9 : シリアのダマスカスの突然の崩壊。これはイザヤ書 17 章 1 節、エレミヤ書 49 章 23~27 節の預言です。No. 8 : No. 9 に結びついていますが、ロシア、イラン、トルコ率いる同盟国による、シリアからのイスラエル侵略。これはエゼキエル書 38~39 章です。No. 7 : 頻度と強度が増し加わった、大規模な地震。これはマタイの福音書 24 章 4~8 節と、ルカの福音書 21 章 10~11 節です。No. 6 : ノアの時代、ロトの時代のような邪悪な者の増加。ルカの福音書 17 章 26~29 節。No. 5 : それに伴う、不法の者の増加。これは第二テサロニケ、実に 2 章全体ですが、具体的に言えば、1~12 節です。私たちはつい最近、テサロニケ人への手紙 第一・第二両方を学び終えました。No. 4 : 世界規模での平和と安全への要求これは、第一テサロニケ 5 章 3 節です。No. 3 : エルサレムを分割することへの強い執着。これは、ゼカリヤ書 12 章 1~3 節です。No. 2 : 多くの者との 7 年間の和平合意 ダニエル書 9 章 27 節。こんにち、明らかに私たちの目の前で起こっている預言です。No. 1 : 最後ですが軽んずるものではなく、今日の時間の大半を費やす内容です。“世界統一宗教・世界統一政府・世界統一経済の形成”これらの預言は、黙示録の中、具体的には

17章と18章にあります。しかし、今日見て行くのは、大変よく知られている黙示録13章、具体的には11～18節です。以上です。これが預言トップ10一覧表です。お許しいただけるなら、それぞれを詳しく見ていきましょう。

No.10から始めます。聖書預言と、今だに主の来臨を待ち望み信じるクリスチャンへの嘲笑です。想像してみてください。「主は戻ってこられる。」「またまたそんなこと～。」「本気か?」「私の祖父の祖父の祖父の祖父の祖父、祖父の犬さえも、主が戻ってこられると、ずっと言っていたけど、未だに戻っては来られない。」これが、まさに使徒ペテロの言うことの、非常に緩い言い換えです。

「まず第一に、心得ておきなさい。終わりの時に、嘲る者たちが現れて嘲り、-ちなみに、その理由がここに書かれています - ..自分たちの欲望に従いながら…」 (第二ペテロ 3:3)

これは説得力がありますね。彼らは邪悪な生活と、自分たちの悪事を楽しんでいるので、主の来臨を望んでいません。その詳細は後ほど。4節、「こう言います。…」これが彼らが言う事です。思い切って言えば、ここにいる全ての人が、誰かがこんな風に言うのを必ず一度や二度聞いたことがあるはずです。言い方は違っても、基本的に要点は同じです。彼らは、こう言うのだとペテロが言っています。『彼の来臨の約束はどこにあるのか。父たちが眠りについた後も、すべてが創造の始めからのままではないか。』」「まあ少なくとも、彼らは創造を認めているじゃないか。」しかし早まってはいけません。なぜなら、ペテロは続けて指摘しています。彼らがいかに意図的に…皆さん、”意図的に”の意味をご存知ですか? それは、大変意味深ですが、”意図を持って”と言う意味です。とても興味深いですね。しかし、彼らは意図的に否定し、忘れているのです。神が全てを創造され、世界を裁かれた時に、その創造物を破壊されたということを。いい機会なので、非常に手早く言わせてください。裁きの時は来ます。裁きの時が来ます。

「神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、刈り取りもすることになります。」 (ガラテア 6:7)

裁きの時が来ます。しかし皆さん、信者のために何が来られるかご存知ですか? イエスが来られます。

そして、キリストを拒絶したこの世に下る裁きの前に、私たちを連れ出されるのです。それが起ころうとしている事で、その時は非常に近いです。

No.9: これは、シリアのダマスカスに関する預言で、イザヤ書17章1節で非常に具体的に語られています。「ダマスコについての宣告。『見よ。ダマスコは取り去られて都でなくなり、瓦礫の山となる。』」

ここ数年、特に、この2～3年というところでしょうか、私たちは特に預言と、リストにある次の預言との関連に焦点を当ててきました。ゴグ、マゴグのイスラエル侵略。エゼキエル書38章です。同盟国国家の侵略はシリアから来ます。何が興味深いかと言うと、この同盟国国家は、準備万端でシリアにおり、言わば、Goサインを待っています。Goサインに関して、実に興味深いのは、神の民に敵対する国家を侵入させるため、神ご自身が彼らの顎に鉤(フック)を掛けて、Goサインを出される事です。そして、彼らは壊滅的な敗北をするのです。彼らが敗北する時、神はこう宣言します。「私が今このようにしたのは、この理由のためだ。」

「そのとき彼らは、”わたし”が主であることを知る。」 (エゼキエル 38:23)

それが、エゼキエル書38章です。さっと1～6節を読ませてください。それから、13節を読みたいと思います。というのも、既に詳細に富んでいるこの預言の詳細は、先週のニュースで見たことと全く同じことを語っているからです。では、

エゼキエル書38章

1 次のような主のことばが私にあった。

2 「人の子よ。メシエクとドバルの大首長である、マゴグの地のゴグに顔を向け、彼に預言せよ。」

3「『神である主はこう言われる。メシェクとトバルの大首長であるゴグよ。今、わたしはおまえを敵とする。』

4わたしはおまえを引き回し、おまえのあごに鉤をかけ、おまえと、おまえの全軍勢を出陣させる。それはみな完全に武装した馬や騎兵、大盾と盾を持ち、みな剣を取る大集団だ。

5節、この同盟国になる国のリストがあります。

それらは古代名で挙げられています。5節、リストの最初にあるのが、

5ペルシャ(イラン)とクシュとブテも彼らとともにいて、みな盾を持ち、かぶとを着けている。

「ゴメルとそのすべての軍隊、北の果てのベテ・トガルマとそのすべての軍隊、それに多くの国々の民がおまえとともにいる。」そして13節。非常に興味深くなります。

13シェバやデダンやタルシシュの商人たち、およびそのすべての若い獅子たちは、御前に言うだろう。

『おまえは分捕るために来たのか。獲物をかすめ奪うために隊を構えたのか、銀や金を運び去り、家畜や財産を取り、大いに略奪しようとするつもりか』と。

言い換えれば、シェバとデダン、タルシシュ、そしてすべての若い商人たちは、この侵略に疑問を投げかけるといふ事です。彼らは、この侵略に関わりません。そして疑問は非常に明確です。「イスラエルの持っている物を、イスラエルの繁栄を分捕るのか?」です。イスラエルはこんにち繁栄しているのでしょうか?それは間違いありません。そして、それがこの侵略の目的です。イスラエルから戦利品を奪うためです。そして、シェバやデダン、その他が共に、抗議し、異議を唱えるのです。シェバとデダンがどこかご存知ですか? サウジアラビア、そして、こんにちバーレーン、アラブ首長国連邦他として知られている地域です。聞き覚えがありますか? ちょうど先週発表された、スーダンのことです。ちょっと不可解です。実は、スーダンもイスラエル侵略の同盟国の一つであると提案する人もいました。しかし、その地域にあるアラブの国々が集まってきていて、イスラエルとの関係を正常化しています。まさに2500年以上前に預言者が述べた通りにです。それが今起こっています。またしても、これは私たちが今から見ていくものに結びついています。

No.7. 頻度と強度がまし加わった巨大地震。私は約30年間、この預言に注目してきました。38年前に主に人生を捧げてから、マタイの福音書24章のこの預言は、常に私の興味をそそりました。これは、終わりの時と主の来臨に関してイエスが弟子たちから答えを熱望された質問です。「どんな兆候があるのですか?」そして、イエスは彼らの質問に答えられます。4節です、最初に口にされることをお聞きください。

マタイの福音書24章

4人に惑わされたいように気をつけなさい。わたしの名を名乗る者が大勢現われ、『私こそキリストだ』と言って、多くの人を惑わします。

付け加えさせてください。終わりの時の、目印の一つは欺瞞です。欺瞞です。使徒パウロが救い主の言葉を繰り返しています。欺瞞に関する警告です。

6節、イエスは仰います。「また、戦争や戦争のうわさを聞くことにはなりますが、」戦争に加え、戦争の恐れです。

6「...慌てないように気をつけなさい。そういうことは必ず起こりますが、まだ終わりではありません。」

それは終わりの始まりに過ぎません。そして、7節で仰います。

7民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、...

非常に興味深いです。こんにち、テレビやニュースで目にする事です。なぜそう言うか、理由を説明します。新約聖書の原語、ギリシャ語では、民族は、”エスノス=ethnos”です。ここから、英単語の”ethnic”(民族)や”ethnicity”(民族性)が来ています。イエスが何を仰っているかご存知ですか? 人種が人種に敵対し、民族が民族に敵対する。国は国に敵対する。そして、彼は仰います。

「...あちこちで飢饉と地震が起こります。」

その後、8節、彼は仰います。

「これらはすべて産みの苦しみの始まりなのです。」

言い換えれば、イエスは、私が今読んだこのリストは、それ全てが、産みの苦しみだと仰っています。

出産の痛みとはどういうものでしょう？ それは頻度と強度が増すということです。ということは、こう言えるのではないのでしょうか？ 私たちは、ある程度まで遡って、陣痛のように、激しい地震が増加していることを 見る事ができるはずだと。 その通りです。これは、ある図表の写真です。ワンパス出版が生成したものです。Ingenuity Films 社のドキュメンタリー番組 “The Coming Convergence” の中で紹介されました。とてもお勧めです。USGS（アメリカ地質調査所）の センサーデータをまとめた表で、 マグニチュード 6.3 以上の地震を示しています。1920 年から現在までの 増加に留意してください。専門家が非常に危惧していることは、海へと流れ込むほど 大規模な地滑りを引き起こす 火山噴火の引き金になる大地震が 起こるのも時間の問題だということです。まさに黙示録が、7 年間の患難時代に起こると 預言し記述している通りです。

No.6. これは... 邪悪の増加です。不法ではなく、邪悪です。不法については次話します。イエスが、ルカの福音書 17 章 26~29 節で 話しておられるのをお聞きください。「ちょうど、ノアの日が起こったのと同じことが、...」 ノアの日が起こったこととは何でしょうか？ 創世記 6 章です。お読みになることをお勧めします。特に 5 節。私たちに語られているのは、彼らは非常に邪悪で... - これをお聞きください。- 彼らは非常に邪悪だったので、更に邪悪になれる 新たな方法を生み出していました。彼らは、朝目を覚まし、こう考えるのです。「今日はどんな悪をしようか？」と。彼らはそれほど邪悪だったのです。彼らは絶えず邪悪なことだけを考え、生み出すことも、行動も全てが邪悪でした。とても邪悪だったのです。イエスが仰っています。「...人の子の日にも起こります。」人々は、邪悪になりますと。

「ノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったりとついでにしていたましたが、洪水が来て、すべての人を滅ぼしてしまいました。」（ルカ 17:26~27）

「また、ロトの日が起こったことと同じようになります。...」ソドムとゴモラがどんなだったか、説明するまでもありません。かなり生々しいですねとても生々しくて...あえて言うならば、ソドムとゴモラで、ロトが起こったことの記述は、あまりにも詳細がすぎます。TMI (Too Much Information) 私は、御使いがロトを連れ出しに来た時のことは 本当に知りたくありませんでした。ロトが何をしたか、そこの人々が 何をしようとしていたか。私はそれを知りたくありません。しかし、知っておくべきです。なぜかという、それがこんにち起きていることだからです。それは悪化しています。言わなくてもわかるかもしれません。そういえば、LGBTQ に何文字か追加されたと聞きました。ご存知ですか？ ロトの時代には、何文字あったのでしょうか？ ふむ。「また、ロトの日が起こったことと同じようになります。人々は食べたり飲んだり、売ったり買ったり、植えたり建てたりしていましたが、」「(しかし)ロトがソドムから出て行ったその日に、火と硫黄が天から降って来て、すべての人を滅ぼしてしまいました。」イエスが仰っていることが分かりますか？ それがこれから起こるということです。今はロトの時代のようなからです。まるでノアの時代のようなです。ちなみに、これは 患難前携拳と同じ形です。火や硫黄が降ってくる前に、ロトは連れ出されました。事実、それは急き立つものでした。話の中に詳細が書かれています。非常に興味深いです。ロトは躊躇しました。彼の妻もそうでした。彼女に何が起こったのかはご存知ですね。そのことを 面白おかしく言うつもりはありませんが。事実、悲しいことです。しかし、ロトでさえ躊躇しました。御使いは、彼らの手を掴んで力づくで連れ出し、彼らを救い出したとあります。なぜなら、まさに裁きが訪れ、火と硫黄が降って来ようとしていたましたが、ロトが連れ出されるまでは 来ることはできなかったからです。それが患難前携拳です。ロトは、裁きの前に救い出される教会と同じです。

No. 5、不法の増加。こんにち、不法が蔓延していると言っても 過言ではありません。第二テサロニケ 2 章、実にこの章全体ですが、7~10 節を読みます。「不法の秘密はすでに働いています。ただし、秘密であるのは、今引き留めている者が 取り除かれる時までのことです。」「その時になると、不法の者（反キリスト）が現れますが、主イエスは彼を御口の息をもって殺し、来臨の輝きをもって滅ぼされます。」

「不法の者は、サタンの働きによって到来し、そのあらゆる力、偽り（The lie）のしるしと不思議、」

興味深いことに、” The lie”（特定された偽り）です。 ” A lie”（不特定の偽り）ではありません。

「また、あらゆる悪の欺きをもって、滅びる者たちに臨みます。彼らが滅びるのは、自分を救う真理を愛をもって 受け入れなかったからです。」真理とは誰でしょうか。道であり、真理であり、命である イエス・キリストです。（ヨハネ 14:6 参照）

No. 4。先に進めます。世界規模での、むやみなほどの 平和と安全への要求。これは第一テサロニケ 5 章 3 節です。「人々が、『平和だ、無事（security）だ』と言っているとき…」あるいは「平和と安全（safety）」も同じです。新約聖書の原語、ギリシャ語の”アスファリア”は 安全（sefety）、無事（security）と訳します。「『平和だ、無事だ』と言っているとき、突然の破滅が”彼ら”（キーワード）を襲います。」ここで再度、「妊婦に産みの苦しみが臨むように、”彼らは”それを逃れることは決してできません。」皆さん、”彼ら”ではないことを 嬉しく思いませんか？ 皆さんが”彼ら”ではないことを願っています。ここにおられる方で、”彼ら”である人は、”私たち”になる必要があります。なぜなら、私たちは脱出するからです。

「生き残っている私たちは、彼らと一緒に雲に包まれて 引き上げられ、（連れ出され）空中で主と会うのです。」（第二テサロニケ 4:17）

これらが起こるとき、私たちはここにはいません。

No. 3。エルサレムを分割することへの よろめくほどの執着。理由があつてその言葉を使っています。皆さんすぐに理由が分かると思います。

ゼカリヤ書 12 章

1 宣告。イスラエルについて主のことば。天を張り、地の基を定め、人の霊をそのうちに造られた方、主の告げられたことば。

2 「見よ。わたしはエルサレムを、その周りのあらゆる民をよろめかせる杯とする。エルサレムが包囲されるとき、ユダについてもそうなる。

3 その日、わたしはエルサレムを、どの民にとっても重い石とする。すべてそれを担ぐ者は、身にひどい傷を受ける。地のすべての国々は、それに向かって集まって来る。

この預言が何を語っているのかご存知ですか？ その日、来たるその日には、地上のすべての国が執着します。神が送られる杯から飲むことで、彼らはよろめくように執着します。神が文字通りお名前をおかれた都市、エルサレムに。全ての都市の中から、イスラエルの全ての部族の中から、神はエルサレムを選んで、ご自分の所有権として名前を置かれました。私たちは、文字通り、そのことについて話しました。神の御名は、エルサレムの上にあります。「それを所有しているのは私だ。あなたではない。」

「あなたは入って来て、境界石を動かし始めるのか？」「それは不動だ。動かすことはできない。」

「試してみるつもりか？ よろしい。」「それを切り分けるのなら、私はあなたを切り刻む。」「エルサレムを分断するつもりか？」「ならば私があなたを分断する。」かなり強烈です。

No. 2。多くの者との 7 年の和平合意。ダニエル 9 書 27 節。聖書の中で最も詳細な預言の一つです。私たちは以前、このことについて具体的に 見ていきました。その箇所を読みます。

「彼（反キリスト）は、一週の間、多くの者と固い契約を結び、…」それが 7 年間の患難時代です。

「...半周の間 (3.5 年で)、いけにえと捧げものをやめさせる。...そして、神殿で…」これは神殿が再建されたことを前提としています。私はこう信じています。そしてますます確信しています。この7年間の和平契約には、ユダヤ人の神殿再建が含まれているだろうという事です。実際、それが契約を締結するものになります。ユダヤ人は、神殿の再建の為なら何でもするからです。その為なら、彼らは何でもあきらめるでしょう。「あなたたちはこれをして、我々は神殿を建てる。ではどこに署名すればいいですか?」と。ですから私は、7年間の患難時代の初期段階に、ユダヤ人が神殿を再建すると信じています。そして中間時点で、反キリストは、その神殿に自分自身を置きます。パウロが、第二テサロニケ第2章2で述べているように、ですから章全体が読むのが良いのですが、それは、ダニエル書9章27節で言われていることと一致しています。反キリストは、中間時点で、忌むべきことを行い、荒廃を引き起こします。

「...忌まわしいものの翼の上に、荒らす者が現れる。そしてついには、定められた破滅が、荒らす者の上に降りかかる。」(ダニエル 9:27)

最後に、大事なのが、No. 1。

世界統一宗教・世界統一政府・世界統一経済の形成。

黙示録13章

15 第二の獣は、獣の像に息を吹き込むことを許されて、像がものを言うことさえできるようにし、獣の像を拝もうとしないものがあれば、皆殺しにさせた。

16 また、小さな者にも大きなものにも、富める者にも貧しい者にも、自由な身分の物にも奴隷にも、すべての者にその右手か額に MARK/刻印を押させた。

17 そこで、このMASK (マスク) のある者でなければ、物を買う事も、売ることもできないようになった。...あ、すみません。MARK (刻印) でした。皆さん分かりましたね? 分かったと仰ってください。

このMARK/刻印とはあの獣の名、あるいはその名の数字である。

18 ここに知恵が必要である。賢い人は、獣の数字にどのような意味があるかを考えるがよい。数字は人間を指している。そして、数字は六百六十六である。

世界統一宗教・世界統一政府・世界統一経済の形成を こんにち起きている預言のリストのNo.1に置く理由は、私たちが知っている通り、現在コントロールされている世界秩序の解体です。世界経済・世界政府を意図的に破壊する COVID-19/コロナウイルスの策略です。見ての通り、これはコントロールされた世界経済の解体です。コントロールされた世界政府の解体です。すべて COVID-19 の旗の下で、同時に、世界宗教の統一をもたらすでしょう。このように言うのをお許しください。しかし、これは見事です。

これよりも良い策略を思いつくのは 私にとって、恐らく皆さんにとっても、とても難しいことでしょう。世界統一政府、世界統一経済、世界統一宗教を実現するにはどうすれば良いか? まず、現存する政府を取り除く必要があります。現存の経済を取り除かなければなりません。邪魔者がいなくなっただけでないとできません。なるほど。それでは、我々は、何をすればいいのか? ははは。これ以上見事な計画は思いつきません。邪悪な計画です。これは邪悪な計画です。COVID-19 を世界にもたらすことです。そうすればいとも簡単に、現在の世界秩序を完全に破壊することができます。そして、それは意図的です。再びこの言葉です。「意図的」。どういう意味かご存知ですね? 意図があるということです。世界秩序を意図的に破壊するために、世界経済フォーラムの“偉大なる再設定”を実行する偉大なる再設定とは何でしょうか? まさにこれです。デジタル通貨及びその技術を持ってユニバーサル・ベーシックインカム (別名 UBI) へと導くために世界経済を再設定することです。既にそうかもしれないが、

この UBI (ユニバーサル・ベーシックインカム) について、これからもっと耳にするようになります。

ところで、現金ですが、最悪です、最悪。それに触ってはいけません。ウイルスに感染します。私たちにあなたの現金を渡さない。後ろに2つのアガペボックス（献金箱）があるのでそこに入れて頂いて…冗談です。しかし、彼らは現金を排除しなければなりません。米ドル、ペトロドル（オイルマネー）を破壊するためのものではありません。新しいデジタル通貨を導入するためのものです。そして、彼らは既に、それを実行するための技術を持っています。それと共に来るのが、誰もが同じ金額を受け取る、ユニバーサル・ベーシックインカムです。このキャッシュレスシステムと、ユニバーサル・ベーシックインカムは、社会信用スコアと呼ばれものに基づき、これによって売買が可能になります。社会信用スコアについて知りたければ、中国を見ればよく分かります。その仕組みは次のとおりです。それはクレジットスコアのようなものです。何かを購入したい時やお金を借りたい時、クレジットスコアが高くなければなりません。同じことが、社会信用スコアにも当てはまります。社会信用スコアは、グローバル・ガバナンス（国際統治）と要求事項を受け入れ、従っているかどうかで決まります。各自の遵守は、COVID-19 ワクチン義務化という形で監視して管理されます。最近の報道によると、世界経済フォーラムに関わっている（それは驚くことではありませんが）非営利信託「コモンズプロジェクト財団」は、3種類のスマートフォンアプリをリリースする準備が整っています。1つは「コモンヘルス」と呼ばれ、2つ目は「COVID チェック」で、3つ目は「コモンパス」です。数週間前のアップデートで、COVID パスについて話しました。私はアーカイブに戻って、そのウェブサイトを見つけようと思いました。

URL を入れると、世界経済フォーラムのウェブサイトに繋がりました。今はそう（COVID パス）呼ばれておらず、「COVID チェック」「コモンパス」「コモンヘルス」と呼ばれています。これら3つのアプリは全て、今は電話の中にあります。いずれは非人間化された人間に埋め込まれます。因みに、そのことはもうすぐお話しします。いずれも、（お聞きください）人々の健康データを収集、保存、監視します。それによって人々は、旅行、勉強、仕事、生活できる場所を判断されるのです。では素敵な午後をお過ごしください。お近くのスマートフォンに近日公開。昨夜遅く、私は非常に興味深い記事を見つけ、これに1時間ほど費やしました。その後、晩御飯を食べて、寝た方がいいのかもしれないと思いました。しかし、それは90年前に出版された本に関する記事でした。「労働者-支配と形態」というタイトルです。エルンスト・ユンガー（発音が正しければ）という人が書いたものです。その中で彼は、服従を強制するための、フェイスマスク使用を予測しています。記事から引用します。「マスクの暗黙時代において、『全個性の抹殺』は、全てのディストピア文学の変わらないテーマである。（※ディストピア（暗黙）＝ユートピアの正反対）フェイスマスクが義務化が強要され、「新しい通常」の一部になりつつある中…」これは矛盾しています。新しいなら、通常ではなく、通常なら、新しくありません。「フェイスマスクが新しい通常の一部になりつつある中、人々が州の代表者や一般人によって着用を強制されるという施行措置は、より非人間的で、厳罰的になりつつある。」90年前ですよ。「フェイスマスクが2020年に全世界で、そして社会的文脈の中で突如偏在的になったことを見れば、これこそまさにユンガーが考えていた種の展開であるという結論であるに違いない。我々が進んで顔を覆い隠すという事実は、非人間化という傾向を反映しており、ユンガーはいはく、近代的な時代の下を行くものである。これは、第一次世界大戦で明白になった、個人の劣化における新たな段階を象徴している。

戦場での道具の一つとして、あるいは戦時経済の歯車の一つとして、近代的な時代は、人間という生き物の価値を、機能する物体へと下げる傾向がある。不必要なものは全て、つまり、私たちを人間にするものは全て、捨て去られているのだ。」私たちは、社会的距離保持、人との触れ合い、人との接触、人との交流について話しました。皆さん、社会的交流や人との触れ合いこそが私たちを人間にするものだとご存知ですか？顔を覆うこと、隠すことは、私たちから人間性を奪うのです。考えてみれば、この新しい秩序を導入するためには、個人を取り除かねばなりません。全てが集団的なものでなければなりません。これを陰謀論やSFと勘違いしないでください。今日述べてきたことは全て、

今こうしている間にも、起きていることです。そして、それらはただ起こっているだけでなく、再度この言葉を使いますが、「超高速で」前進しています。しかも、これは何年も何十年も前から計画されてきたことです。2020年が、その計画実行の年だと決まっていたと言えましょうか？ここに真実があります。「その計画」は、人口制御することです。制御するために、まず人口を減らすことによってです。

私は、もう何ヶ月になるでしょうか？30週間以上この話をしてきました。よろしければ、それらのアップデートについて言及したいと思います。再度になります。概要欄にリンクがあります。もしくは、今から30時間以上をかけて全てを詳しく見ていくこともできますが、皆さんそれはお嫌でしょうか？

でしょう？幾人かの方は、「いいですよ。もちろん！」「ワオ！OK」3月29日から始まりました。私たちは、この危機がいかにか、そしてなぜ、最終的に教会携挙、反キリストの出現、7年間の患難時代という順番で起こる出来事に繋がるかを見ていきました。それが3月29日でした。4月19日、4月のことです。私たちは、この世界的なグローバル危機がいかにか、またなぜ、世界秩序全体を再形成し、再設定し、新世界秩序の到来を告げるのかを見ました。これはヨハネの黙示録で言われている通りです。

4月26日、私たちは、このすべてがどこに向かっているかについて話しました。特に、既に準備されているある行動計画の実行についてです。これは非常に具体的で、この時ビル・ゲイツの話をしました。“その計画”とは…Q (QAnon (Qアノン/キューアノン) が『その計画を信じろ』といった計画を覚えていますか？その計画の事です。人口削減と抑制です。全てはそれが目的です。5月10日、私たちがいかに帰還不能点を通り、もう元に戻ることはできないかについて、主が私に語らせたいと思っておられるのを感じました。それは、、、こう言うのは嫌ですが、ゲームオーバーです。この捏造された危機の旗印の下で行われていた、また今も行われている悪事と共に終わるのです。私は、それを捏造された危機と呼んでいます。再度ははっきりお伝えしますが、私は、ウイルスはあると思っていますが、パンデミックはないと信じています。現在の世界秩序を破壊し、新しい世界秩序をもたらすための捏造された危機です。5月17日、これから起こることについて、詳しく見ていきました。特に接触追跡とH.R.6666です。これは、全ての人に到達して検査を実施するという法案で、“検査/Test、到達/Reach、そして/And、接触/Contact、全ての人/Everyone”の頭字語をとって、“TRACE”です。これは私がワクチン義務化に向けて、「追跡競争」と呼ぶものです。ちなみに、このワクチンはもうすぐ使用可能になるそうです。人体実験で人が殺されているにも関わらずです。念のために知らせておきますが。ご存知でしたか？ご存知でしたか。皆さんやりますね。6月7日、これは私にとって難しいものでした。それが本音です。私はこの国が大好きです。誤解なさないことを願いますが、私はこの国を他の大半の国よりも愛しています。両親は、私が9ヶ月の時にこの素晴らしい国に移住しました。私は、レバノンのベイルートで生まれました。彼らは、市民権を取得するために、5年間も勉強し、準備しました。両親が正式に、アメリカ市民になるための式典に出席した日のことは忘れられません。父と母は、涙を流しながらアメリカ市民になりました。興味深いのは、私はまだ若く、レバノンのベイルートで生まれなので、選択肢がありました。私が18歳になったとき、レバノンの市民権を保持するか、または両親のお陰で自動的にアメリカ市民になるか、選ぶことができました。ふむ。私の出身地の場合、それはノーブレイナー（考えるまでもないこと）です。だから私はアメリカ人です。アメリカは私にとっても良くしてくれています。とにかく…すみません、思わず回想してしまいました。若い方にはそれが何を意味するか、見当もつかないと思います。しかし、とても難しいことでした。このアップデートでは、私たちはアメリカに、そしてアメリカ内で何が起きているのかを見ていきました。そしてそれは、聖書預言にアメリカが存在しないことに関連しています。6月14日、事前に計画された、企てられたイベントについて話しました。これらは

事前に計画されたものです。企てられたものです。そしてこれらは全て 前述の世界の再設定である ”偉大なる再設定” をもたらすという 結末を迎えます。

7月12日。私たちは、来たワクチンが黙示録で預言されている 獣の印であることについての混乱の多くを クリアにしました。手短かに言及したいのですが、多くの人はいこう言います。「額にどうやって注射をするのですか？」そうではありません。量子ドットタトゥーというものです。それは入れ墨、マークです。患難時代、人々は 予防接種証明が必要になります。予防接種を受けたことを証明する しなければ、店舗に入ることはできません。こんにち、マスクなしでは入店できないように。そのように起こるのです。そして、既にその技術は整っています。7月26日。これは非常に興味深く、難しいものでした。非常に物議を醸している マスク義務化をあえて取り上げました。その効果の無さと、預言的な意味についてです。それ以降度々言及しており、今日も触れる予定ですが、マスクにはもっと深い意味があります。8月9日。これはまるで主が、私に強く認識させて下さっているようでした。大患難前携挙という健全な教義を 再確認することです。なぜなら、多くの人々が、、、正直言うと私自身、起こっている全てのことを目にしながら、「????」「本当に携挙は起こるんですよね??」と。はい、起こります。私は自分のメモに戻り、大患難前携挙を証明する聖句、7つの証拠を挙げ、それに 日曜日の礼拝全てを捧げました。その後、私の心が迷うことはありませんでした。万事解決です。理解していただきたいのは、友人や兄弟、牧師、牧師仲間たちが 私のところに電話をかけてきて、こんなことを言うのです。「たぶん違うのではないか？」私は…「そんな～!! そんなこと言わないでくれ～！」

「そんなはずない。」「ああ、でも疑問に思ってきたよ。」したがって、8月9日に このアップデートをしました。私は皆さんを励ましたいのです。もし今日ここに座っておられ、敵があなたの心と思考を 恐怖で満たしているなら、神は皆さんに、恐れを霊を与えておられません。神の御言葉の権威の下に、私は皆さんを励まします。教会携挙は、必ず絶対に、7年間の患難前に起こります。これらが起こるとき、私たちはここにはいません。そうです。主を褒め称えます。一拍手ー 8月16日。米大統領が仲介した、イスラエルとアラブ首長国連邦の 和平合意の預言的な意味について話しました。私がこれらを見直していく中で、皆さんお気づきかわかりませんが…これに関して、皆さんのご忍耐に感謝していますが、これら全ての預言が 一つに結束されてきていることが分かりますか？ 同時にですよ!! すみません。。。たぶん皆さんに唾が飛んだと思います。オレゴン州から来て下さったゲストさん。神の祝福を。8月30日。これは面白いものです。エンターテイメント業界が何年にも渡り、いかに大衆を洗脳することに 成功しているかを見ました。世界的な危機としてウイルスを使い、大衆が足並みを揃えて従順になるようにです。そして最終的な解決策 (理由があってこの言葉を使います) は、ワクチンです。メジャーな映画を見てみてください。いわゆる”ブロックバスター” (今はなき米国の最大ビデオ店チェーン) にあるような映画です。それが共通のテーマだったことに 気づくでしょう。9月6日。

私たちは、大規模な欺瞞が 悪魔的な混乱を生み出していることを 話しました。その混乱は反キリストの到来を促す 分裂と破壊と、イエス・キリストの教会携挙へと 繋がります。9月13日。今の世の中、前代未聞の出来事の中で 唯一意味をなす方法は、まず聖書の預言のレンズを通して 全てのものを見ることだと話しました。言い換えれば、何が起きているのか見ながら 聖書を見るのではなく、まず聖書を読み、それから、何が起きているのかを見ることです。9月27日。本物か偽物か、事実か虚偽かを見分けることで、「本当に真実を知るにはどうしたらいいのか？」という疑問に答えました。10月4日。私たちが話したのは、今の世が日を追うごとに 危険性を帯びてきていること、『しかし、神は』、終わりの日に多くの人々に救いをもたらすため、それを善に変えられていることです。10月11日。2週間前です。マスク、社会的距離、手洗いが、混沌から出た新世界秩序への 入会の儀式になりうるという 私のリサーチをシェアしました。そして、それがいかに イエスと差し迫っている教会携

拳を指し示しているかについて話しました。先週 10 月 18 日。「陰謀論」にまつわる危険性を警告しました。

すなわち、完全に否定すると言う極端、あるいは何を信じていいのか、更には誰を信じていいかわからなくなるほどの混乱を招く極端の危険性です。それが陰謀”説”ではなく、陰謀”事実”であるにも関わらずです。そして、今日に繋がります。数年前、私は主から示されているように感じました。私には義務があると。それは、手遅れになる前に、できるだけ多くの人をイエスに導くために、聖書預言・アップデートをすることです。私は、光栄にもいつものように今日皆さんの前に立ち、再び言わせていただきます。どうかウンザリなさらないでください。しかし、これ以上時間がありません。イエスの教会携挙での来臨は差し迫っています。もうそこまで来ています。私たちは非常に近いのです。3月にこの危機が始まって以来、30週間以上、私たちが見てきたもの全てが指し示すのはただ一つ。イエスです。イエスが来られます。それが私たちの唯一の希望です。それが私たちの唯一の希望です。私たちの唯一の希望は、イエス・キリスト。そして、彼が教会のために戻ってこられることです。更に一步進めさせてください。それから終わりにします。今起こっていることは全て、今日皆さんに共有したことの全ては、最終的に、7年間の患難時代に成就されます。7年間の患難時代に成就する預言へと導く事柄が既に起こり始めているのなら、そして携挙が、患難前に起こらなければならないとしたら、私は誠意をもって、愛情をもって、謙虚に、親切に、あなたにこの質問をします。もしそれが事実なら…そしてそれは事実です。私たちは一体どれほど近いのでしょうか？私は、誰もが想像できないほど近いと信じています。だからこそ、アップデートをすることです。だからこそ、アップデートを行って来たのです。だからこそ、救いの福音とイエス・キリストの人となりで締めくくるのです。また、私たちが、「救いのABC」という、子供にでも分かる救いの簡単な説明で締めくくる理由です。福音とは何でしょうか？使徒パウロが、コリント人への手紙第一15章で語っています。パウロが説いた福音とは、イエスが来られ、死なれ、葬られ、3日目によみがえられたことです。そしてパウロが、テサロニケ人への手紙で語っているのは、福音とは、キリストが来られ、死なれ、葬られ、3日目によみがえられた。そして、、、彼が教会携挙の為に、いつか再び戻られる事。それが福音、良い知らせです。ここ数ヶ月間、私たちは証を共有してきました。オンラインメンバーから送られてくるものです。彼らは、大変多くの人たちに、偉大で途方もない励ましを与えて来ています。よろしければ、今日もう幾つか共有したいと思います。1つ目は、実は、私たちの教会スタッフの”レーン・ハイナイト”さんからです。彼は、ハワイ島に住んでいます。「こんばんは皆さん、素晴らしいニュースを共有しようと思いました。今日の夕方、妹と一緒に祈る機会がありました。彼女が救いを受け取る祈りです。彼女は、テキサスからルイジアナまで、職場から帰宅するために長距離運転をしていました。COVID-19、政治、主と聖書の真理について話し合った後、彼女は決心したのです。彼女は車を止め、私は救いのABCを引っ張り出し、一緒に祈りました。私の妹は今、キリストに贖われた者として、私たちに加わりました。主を褒め称えます。どなたかと共有したかったです。そして皆さんが、そのどなたかです！！」私は「救いのABC」と「聖書預言・アップデート」のビルボードを設置されているオンラインメンバーについて共有してきました。写真は、オンラインメンバーのニック・ペインターさんが私のページに投稿してくれたツイッターです。「@jdfarag: アイダホ州のボイシに行く途中で、この看板を見ました。ぜひ写真を撮ってあなたに送らなければと思いました。私は、約6ヶ月間、あなたの聖書預言・アップデートを見ています。YouTubeであなたを見つけたことを大変嬉しく思っています。神の真理を語ってくださりありがとうございます。本当に目が開かれました。」ところで、オンラインの人の方々、今やこのビルボードは米国中にあるそうです。..そうです！主を褒め称えます。一拍手レーンさんによると、ニューヨークのあるオンラインメンバーは、線路真横にビルボードを設置したそうです。オンラインメンバーの方々。ハワイにはないものが2つあります。ビルボードと電車です。私たちはこれを間接的にしか体験できないのです。なので、これらのビルボードを見かけられたら、ぜひ写真を送ってください。それで、ニューヨーク

このこのオンラインメンバーは、電車線路に隣接してビルボードを設置されました。ですから毎日電車が通り過ぎるとき、、、日に何回通り過ぎるでしょうか？ 乗客は5分間、「救いのABC」を目にするのです。なんと素晴らしいのでしょうか！ 一拍手ー それだけではありません、私たちは、、、（あなた方は、なんと凄いのでしょうか。）私たちは、シャツ、帽子、バンパーステッカーも送ってもらっています。写真は、オンラインメンバーから送っていただいたバンパーステッカーです。「永遠のいのちは重要」それに加えて..あ、もう一つあります。”But God”（しかし、神は）と書かれた素晴らしいシャツです。皆さんにはあげませんよ（笑）私の物です。私がもらったんですから。全面に大きな文字で、”But God”（しかし、神は）とプリントされています。イエ〜イ!!! このふた言が全てを物語っています！とにかく...あるオンラインメンバーが送ってくださった、この写真。なんと素晴らしいのでしょうか。「キリストにおける兄弟姉妹にご挨拶します。ちょっとした手紙を送りたいと思いました。ビルボードといえば、多くの方が愛情を持って、時間とお金を捧げ、イエス・キリストの福音が失われた人々に届くようにしてくださいました。これらの神の美しい人々のために、神を褒め称えます。私自身、多くの人に届くように、自分にも何か良いことができないかと、よく考え、願っていました。結局のところ、誰も滅びないようにと願うのは神の御霊です。

そして神が私の心の中に入ってきてくださって以来、誰も滅びず、全ての人が、私たちの主イエス・キリストの救いの知識を得ることが私の願いにもなりました。なので私は、神が与えてくださる全てのものを使おうと心がけています。その1つは、リアガラス（車の後部窓）です。この車は私のものではなく、全て主のもので。主が与えてくださったので、私はそれを神の栄光の為に使います。また主は、私たちの聖書ミニストリーを祝福してくださっています。私は二人の息子と一緒に、聖書の表紙に、救いにつながる聖句を印刷したり、手書きで書いたりして、その聖書をジップロックの袋に入れて保護し、バス停や公園のベンチなど街中で配布します。最後の出荷は、72冊の聖書で、地元の刑務所に送りました。これまでに492冊の聖書を配布しました。アメリカの全刑務所に聖書を送ることができるように、主がこのミニストリーを成長させてくださることをお祈りしています。世界中にいる、私たちの教会の家族を愛しています。神の祝福と、全てがキリストの愛の中にありますように。」主を褒め称えます。一拍手ー 今日「救いのABC」を、少し違った方法でしたいと思っています。主が思い起こさせてくださったのは、私たちが愛情をこめて、”十字架上の盗人”と呼ぶ人の事です。それが彼の犯罪だったのかは分かりませんが、死に値する犯罪だったことは分かっています。だからこそ彼はその日、もう一人の犯罪者と一緒に、世の救い主と共に十字架にかかったのです。大変興味深いことに、主が私に思い起こさせてくださり、教えてくださったのは、この罪人は、世の救い主と共に、同じあの丘で、同時に十字架刑にかかったこの罪人は、「救いのABC」を行なったということです。説明します。

まず、この罪人は、イエスがご自分が仰った通りの人だったと認めました。もう一人の罪人は、「そんなわけない！彼が救世主なら、自分自身を救ってみろ！」と言いました。しかし彼は、「違う！彼は救世主だ！」というのです。彼はイエスが救い主であり、自分が罪びとであることを認めます。

(Admit:A) 彼はイエスを信じて (Believe:B) そうして、主を呼び求めます。(Call:C) そして、彼は主にこう言います。

「イエス様。あなたがの御国に入られるときには、私を思い出してください。」 (ルカ 23:42)
イエスの答えはどうでしたでしょうか。「そんな簡単ではない、カウボーイ。」そうではありません。「もう遅い。救われるには、十字架を降りて、水の洗礼を受けなさい。」いいえ、そんな事は仰っていません。

「イエスは彼に言われた。『まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。』」 (ルカ 23:43)

私はこれが、”死に際の改心”のお手本だと思います。ところで、私はユーモアを交えています。が、本気で言っているのです。私は、この記述が聖書の文章に記されたのは、神が、私たちに決して

遅すぎることはないことを 知って欲しかったからだと信じています。この世での最後の呼吸をし、永遠の命での最初の呼吸をする時が近いことを 知っておられる方が多くおられます。（死が間近であられる方々）彼らがしなければならないのはこれだけです。この罪人同様に、聖霊の確信があるところに来て、

自分が罪びとであることを認め、救い主が必要であることを認める事。それがAです。ローマ人への手紙 3章 10節、

「正しい者はいない。一人もいない。」（ローマ 3 : 10)

ローマ人への手紙 3章 23節、

「人は皆（私たちの誰しもが）、罪を犯して 神の栄光を受けられなくなっています」（ローマ 3 : 23)
一目瞭然のこととして 理解されていると思いきや、これが一番の障害ですよ。皆さんが誰かと福音を分かち合う時、一番言われる事は、「でも、私は良い人間です。」でしょう。「私は誰も殺していないし。」私はそれに対する答え方があります。私が使っているものを使って欲しいのではありません。聖霊がお与えになるものを使ってください。しかし私は、年を重ねるごとに、だいがマシにはなりました。昔は本当に... お気になさらず... それは私の国の習慣です。ただ、まず最初に言っておきたいのは、地獄には良い人がたくさんいて、天国には悪い人がたくさんいるということです。なぜなら、それは、天国へ入れる基準ではないからです。良い者は誰一人いません。唯一良い人、それが、イエス・キリストなのです。ローマ人への手紙 6章 23節、

「罪が支払う報酬は死です。しかし、神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」（ローマ 6 : 23)

それがAです。次がBです。B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると 神がイエスを死からよみがえらせたことを、Believe/信じる。ローマ人への手紙 10章 9~10節、

「...心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10 : 9)

そして最後に、C。C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。再度、ローマ人への手紙 10章 9~10節、

「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10 : 9)

そして、ここに理由があります。

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」（ローマ 10 : 10)

そして最後に、ローマ人への手紙 10章 13節。これが、十字架上の盗人がしたことです。彼は呼び求めました。主のお名前を呼び求めたのです。

『主の名を呼び求める者は誰でも救われる。』（ローマ 10 : 13)

大変シンプルです。子供にでも分かる簡潔さです。ご起立ください。祈りましょう。賛美チームが上がってきます。私が祈る中で、ここにいらっしゃる方に知っていただきたいのは、皆さんがしなければならない事は 何もないのだという事です。オンラインの皆さん、あなたがしなければならないことは何でもあります。イエスが全てしてくださいました。完了したのです。あなたがそれに加えられるものは何でもあります。「完了した」のです。（ヨハネ 19 : 30) 彼は、その代価を全額支払われました。あなたがしなければならないことは、彼が支払われ、差し出してくださっている 贈り物を受け取るだけです。それが永遠の命の贈り物なのです。それがあなたへの贈り物で、彼は、ご自分のすべてを犠牲にされました。彼は、ご自分のいのちを捧げ、あなたに与える贈り物を購入されたのです。皆さんがするのは、受け取る事。信じて受け取ることだけです。それほどにシンプルなのです。あなたは名乗り出る必要はありません。そうすることは間違いでもありませんが。皆さんが前に出てくるような、伝統的なアルターコールと呼ばれるようなものはしません。それをする必要はありません。私が38年前に救われたとき、、、私はこれを誇りに思っていないですが、私は麻薬でハイになっていました私

は麻薬中毒で、麻薬ディーラーでした。私はとても酔っていました。基本的に、アルコール依存症でした。そして、私は福音がとてもシンプルに示されているのを見ました... 多くの脳細胞がやられていたので、私にはシンプルでなければなりません。神は長年に渡り、大変ご忠実で、多少元に戻してくださいましたが。とにかく、それは非常に簡単に説明されました。そして気がつきました。ああ、なんと。私にはイエスが必要だと。私は罪びとで、彼が救い主。そして、私は自分の部屋に行きました。

ところで、他に言い方が見つかりませんが、祈りは魔法のようなものではありません。「罪びとの祈りだ!」「一字一句繰り返して言わなくていいのか?」「要りません。」「決まった言い方をしなくてもいいんですか?」想像できますか? あなたは救われるため、主の御名前を呼び求めています。そして、イエスが、「それだけ?」と仰いますか?「それで全部?」「それがあなたの祈りですか?」「なんだそれは。もっと祈り方があるだろう?」そうではありません。再度、十字架上の盗人について言います。彼が言ったのは、「あの～私はあなたと一緒にいきたいのです。私は罪人で。。。」「あなたが救い主だと、私は信じます。」彼はそう言ったのです。(話を戻して) 私は、自分の部屋に行きました。当時、2人のルームメイトがいて、彼らはまだパーティーをしていました。私は部屋に入りました。確信がありました。私は、AC/DCという名前の悪魔崇拝グループにハマっていました。彼らのナンバーワンアルバムは、「Highway to Hell/地獄へのハイウェイ」私は、これを誇りに思っていますが、あの曲の歌詞は今でも一字一句暗唱できます。私は地獄へのハイウェイにいる...それが私の祈りでした。

私は祈ったというよりも、唸ったという感じです。再度、私はこれを誇りに思っていない。これを共有しているのは、皆さんにありのままに来ていただきたいからです。あの1月の夜、私は神に言ったのです。「地獄へ行きたくない。天国に行きたい。」と。(酔っ払いの言葉)「私は地獄へのハイウェイにいる。地獄行きはいやだ。私は、天国のハイウェイにいたい。」私はそう祈りながら眠りに落ちました。祈る方法など知りませんでした。私は何も知らず、白紙の状態でした。ある意味ではそのことを神に感謝します。特に学んだことはなかったの、勉強し直す必要がありませんでしたから。祈りながら眠りに落ち、主の名を呼び求めました。翌朝目が覚めました。全く新しい創造物でした。新しい創造物です。一拍手一以前にも共有しましたが、これで締めくくります。私は、アルコール依存症、薬物依存症、タバコ依存症。それがなければ一日を始めることができませんでした。気持ち悪いのですが、あの朝、冷蔵庫の中のビールに手を伸ばしました。すると聖霊が私に仰いました。「おい、君!」そんな風には仰いませんが、小さな声で仰いました。「もうそれは必要ありません。」「必要ないのですか?」「必要ありません。」「なぜ必要ないのですか?」「あなたは新生したのです。」「それらはもう過去の物です。」私は、何度も自分の意志で、自分の力で、止めようと試みたのです。皆さん、私がどのくらい上手く、どのくらいの期間止めれたかご存知ですか? 1時間半です。それしかもちません。全然うまくいきませんでした。私は、薬物・アルコール・たばこを目にしました。もはや要りません。そして、38年間振り返ったことはありません。神は、私からその欲望を完全に排除して下さいました。私はもう新しい創造物だったからです。人によって違うのは分かっています。私は、悪魔のアルバムを数々持っていました。私はお金が必要だったので、実は、ルームメイトにそれらを売りました。「燃やすべきだったのに!」分かっています。ごめんなさい～すべての薬物も処分しました。二度とそれを必要としませんでした。それが力です。それが救いの福音の力です。もう終わりますので、

これが最後です。何度もそう言っていますが。しかし、私のような者が救われるなら、誰でも救われるのです。それが一番言いたいことです。祈りましょう。主よ、ありがとうございます。主よ、福音の簡潔さに感謝します。贈り物をありがとうございます。あなたが全額支払ってくださった永遠のいのちの為の贈り物です。主よ、私が牧師としての特権に与るこの素晴らしい教会におられる方で、またオンラインでご覧の方で、まだあなたを呼び求めたことがなく、あなたを信じたことがなく、あな

たの御前で罪を認めたことがない方の為に祈ります。主よ、今日、彼らがどこにいても、彼らが誰であつても、彼らがあなたを呼び求め、救われることを祈ります。主よ、ありがとうございます。イエスの御名によって祈ります。 アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7